

公開保育による施設関係者評価と第三者評価

日 時 平成 27 年 12 月 14 日（月）～17 日（木） 午前 10 時～11 時 15 分程度

会 場 当園舎

内 容 公開保育を行い、予め当園で用意した評価票を使って評価を行う。評価票には保育の内容に関する 4 項目、園児の様子に関する 4 項目、保育者の姿勢等に関する 6 項目の計 10 項目を 5 段階で評価する。その他、良かった点、努力してほしい点を記入する。
職員同士お互いの保育を見学できるように 1 日 1 クラスずつ行う。
各クラス保護者・当園教員等の施設関係者、並びに市内私立幼稚園代表 1 園の第三者に必ず評価をおこなっていただく。

評価者 施設関係者：保護者 8 名、当園教員 16 名、地域代表者 1 名、小学校 2 名、
長岡市保育課 1 名
第三者：長岡市内私立幼稚園 4 園（園長 3 名、副園長 1 名、教諭 2 名）

経 緯 11 月 24 日：文書による概要説明（別紙：公開保育の概要参照）
上記 4 日間：当日文書による指導案配布（別紙：公開保育指導案参照）
12 月末日：評価票の提出

結 果 以下記載

評価公表にあたり、不特定多数が閲覧可能な当園ホームページに掲載するため、人物の特定ができないように報告することをご了承下さい。

評価項目	A 組	B 組	C 組	D 組	Av
テーマの設定について年齢に対し適切でしたか	4.5	5.0	4.8	4.6	4.7
今回設定した教育要領のねらいに沿った保育がおこなえていましたか	3.9	4.8	4.5	4.5	4.4
今回設定した教育要領の内容に沿った保育がおこなえていましたか	4.1	4.6	4.6	4.8	4.5
予想される姿や環境・指導のポイントは的を得ていましたか	4.4	4.7	4.1	4.4	4.4
園児は主体性を持って取り組んでいましたか	3.9	4.6	4.4	4.5	4.4
園児同士声を掛け合ったり、伝えあったりしていましたか	4.1	3.8	4.1	4.9	4.2
園児は楽しんで取り組んでいましたか。	4.6	4.9	4.6	4.6	4.7
園児は理解して取り組んでいましたか。	4.0	4.2	4.3	4.5	4.3
時間配分は適切でしたか	4.6	4.6	4.3	4.3	4.5

教具・教材を適切に利用できていましたか	3.9	4.7	3.9	4.6	4.3
保育者の園児に対する態度や言葉遣いは良かったですか	4.4	5.0	4.6	4.9	4.7
保育者の声の大きさや早さは園児に伝わりやすかったですか	4.3	5.0	4.8	4.5	4.7
保育者同士の連携はうまくいっていましたか	4.4	4.8	4.6	4.6	4.6
教室の整理整頓、清潔にしてありましたか	5	4.8	4.9	4.8	4.9
教室を保育しやすい環境にしてありましたか	5	4.8	4.8	4.8	4.9
Av	4.3	4.7	4.5	4.6	4.5

考察

立場（施設内関係者、施設外関係者、第三者）による評価のバラツキはほとんど見られず、また細かな点においては専門的知識からの指摘はあったが、概ね専門的知識の有無による評価の差もあまり見られなかったので、受けとめやすい結果となった。

『保育の内容』については、年齢に対し適切ではあるが、教育要領のねらいに必ずしも合致せず、予想される姿や環境・指導ポイントが若干ずれていると言える。しかし、全般としては高い評価が得られたので、今後はテーマと実践ポイントがしっかり合致するように心がける必要がある。

『園児の様子』については、楽しんで取り組んでいるものの、園児同士のやりとりや主体性にやや欠けていたと言える。そのため、一部の園児は良く理解していない場面もあった。声がけの内容も大切だが、間（ま）も大事にしていく必要がある。

『保育者の姿勢等』については、その環境について高い評価を得ているが、教具・教材の適切な使い方においては若干評価が低い。使い方のさらなる工夫が求められている。

また、当園では今年度より全クラス複数担任制を実施しているが、保育者同士の連携についてうまくいっていると言える。

評価者がクラスごとに違うので、安易な比較はできないが、各クラスの良さ、努力の必要な点が、はっきり見えたと思う。ここでは各クラスの記述については省略するが、評価を元にした『保育の振り返り』において、保育者自身の反省と評価者の指摘は概ね一致しており、今後の取り組むべき方向性が明確になった。

また、評価者のお褒めの言葉は保育者の自信につながり、保育に向かう姿勢に大きな影響を与えるものとなった。

今回の評価は単に保育者の評価に留まらず、園全般における一年を通したカリキュラムの編成についても、より園児が主体性や協働性をもって取り組めるように役立てていきたい。

今後も公開保育による評価を実施していく予定であるが、時期、内容、評価者の選定及び評価内容、また今回対象から外れている0, 1歳児クラスについての評価等をどのようにおこなうか、検討していきたい。

平成 28 年 1 月

報告者 園長 若槻 司

公開保育の概要

12月14日(月)	年中児(ピノキオ組)30名	担任:2名(5年目・1年目)
テーマ: みんなで楽しくお弁当作り!!		
テーマの受けとめ: 苦手な煮物や野菜を中心に給食が余ることが多かったので、どのような過程を経て自分の所に届けられるのかを知り、そのありがたさを感じる中で、給食の時間をさらにお友だちと過ごす楽しい時間にしてもらいたいと思いこの活動を選んだ。		
取り組みの概要: ■調理室見学で、調理師の存在や給食ができる過程を知った。 ■作品展では、食をテーマにした作品を作り、食材を図鑑で調べる中で知らない(見たこともない)食材にも関心を持った。 ■「シャキシャキ」の野菜と「モチモチ」のごはんと一緒に食べ「シャキモチ」と表現する中で、三角食べを楽しんで身につけられた。		
当日の実践内容(予定): 事前にグループで決めたお弁当の中身(献立)を調理ごっこしたり、詰めたりして、自由にお弁当作りを楽しむ。		



12月15日(火)	2歳児(ラスカル組)17名	担任:3名(6年目・1年目・6年目)
テーマ: リトミック遊び		
テーマの受けとめ: 朝の会で歌をうたう際、音楽に合わせて身体を揺らし表現する姿が増えてきた。遊びを通して友だちと関わること、歌うこと、聞くことの楽しさを実感してほしいと思い、このテーマを選んだ。日頃から音楽に合わせて身体を動かすことでお遊戯会での表現力の向上につなげたい。		
取り組みの概要: ■曲に合わせて(かけあし・あるき・ゆっくりあるき・ジャンプなど動きを楽しむ) ■友だちと二人組みになって(手合わせ・ぎったんぱっこんのふれあい遊び) ■にんじんやたまねぎ、じゃがいもになりきって(小さな畑・やおやのお店・カレーライス之歌の手遊びやダンスを楽しむ)		
当日の実践内容(予定): ■10人のインディアン曲に合わせて走ったり、歩いたり、ジャンプをしたりと身体を動かすことを楽しむ。 ■友だちと二人組みになって音楽に合わせてふれあい遊びを楽しむ。 ■子どもたちがにんじん、たまねぎ、じゃがいもになりきってダンスをし、カレーライスを作る。		



12月16日(水)	年少児(ムーミン組)30名	担任:2名(6年目・1年目)
テーマ: 楽器遊び		
テーマの受けとめ: お遊戯会でおこなう合奏へ向けて楽器に興味を持ち、お友だちと合奏をする楽しさを味わう。		
取り組みの概要: ■「3匹の子ぶた」「たこやき」「ミックスジュース」「ミッキーマウス」などの手遊び ■猫や蛙、象などの動物の鳴き声を用いて手を叩くリズム遊び ■タンバリンやトライアングル、カスタネットなどの楽器に触れ、自由に音を鳴らしたり楽器の名前を覚える ■ペットボトルや割り箸などを用いた楽器作り		
当日の実践内容(予定): ■楽器の音当てクイズ ■手作り楽器を使い、プチ演奏会をする		



12月17日(木)	年長児(ガリバー組)19名	担任:2名(2年目・1年目)
テーマ: 手作りかるたであそぼう!		
テーマの受けとめ: 日頃、手紙交換を楽しむ様子が頻繁に見られるが、ひらがなを正しく覚えていない子や、書き順を間違っていて覚えている子もおり、小学校入学前にひらがなを正しい書き順で覚えてほしいと思いこのテーマに決めた。		
取り組みの概要: ■毎朝2~3文字ずつ朝の会にて、空中に指で文字を書いて書き順の練習をおこなっている。 ■また、その日練習した文字が頭につく言葉を書き出していき、その数をグループ毎に競うという「ひらがなゲーム」をし、語彙力の向上を図っている。 ■これまでに書き出してきた言葉を元にかるた作りをおこなう。「幼稚園で楽しかったこと」をテーマに絵札・読み札を制作する。		
当日の実践内容(予定): 子どもたちが作ったかるたを使ってかるた大会をおこなう。 〈ルール〉読み札は保育者が読む。「ひらがなゲーム」のグループに分かれチーム戦とする。1番多く獲得したグループの勝ち。		



公開保育指導案

平成 27 年 12 月 14 日 (月)

年中児 ピノキオ組

テーマ みんなで楽しくお弁当づくり!

要領ねらい 健康(3) 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。

要領内容

- 健康(9) 自分の健康に関心を持ち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。
- 人間関係(8) 友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりなどする。
- 言葉(3) したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からない事を尋ねたりする。

先週までの活動概要と園児の姿

- ・10月に行われた作品展では、想像力を膨らませて食材を使った乗り物を描いた。その中で、見たことのない食材を図鑑で知り、様々な食べ物に興味を持った。
- ・三色食品群を踏まえて『あったらいいな』のお弁当をグループで考え、使われている野菜や果物を制作した。
- ・キャラクター弁当や様々な色のご飯を考えるなど、自由な発想で楽しみながら行った。
- ・自分がどの食材の制作を担当するか友だちに声を掛けたり、難しい点を保育者や友だちに聞いたりしながら、一緒によりよいお弁当を目指した。

予想される姿・幼児の姿

環境・指導のポイント

○仏参(10:00~)

- ・静かな気持ちでお参りやお歌をうたう。

○笑顔いきいき

- ・ガリバー組を手本にしながら手話に親しむ。

○朝の会(10:15~)

- ・姿勢を正し、名前を呼ばれたら元気に返事をする。
- ・給食当番は前に出て、献立の発表を行う。感謝を込めて「よろしくおねがいします」を伝え当番は応える。
- ・日付確認を行った後、おはようブックにシールを貼る。
- ・「雪」を動作を交えて元気に歌う。

○主活動(10:35~)

- ・手遊びを楽しみ、お弁当作りに期待感を持つ。
- ・先週作ったお弁当を見て、完成に向け意欲を高める。

- ・野菜に見立てた画用紙等を粘土に混ぜる。
- ・友だちと話し合いながら材料や作り方の確認をする。

◎予想される子どもの姿

積極的に話し合いや制作に参加していない子どもがいる。(恥ずかしい、言葉での表現が苦手、制作が苦手など、理由は様々である)

○片付け(10:55~)

- ・ゴミを捨てたり材料を袋に入れる。
- ・ハサミやクレヨンなど、お道具箱にしまう。

○お弁当発表(11:05~)

- ・自分のグループや他のグループがどのくらい進んだかを見て喜び、次の制作への意欲を高める。

○給食の三色食品群分け(11:10~)

- ・食材が何色グループか考え、手を挙げて発表する。

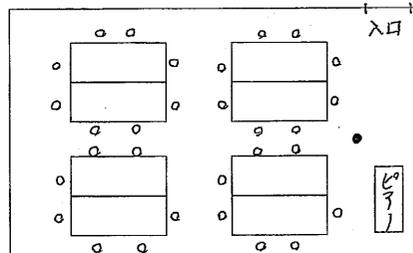
○給食準備(11:15~)

- ・順番に排泄、手洗いうがいを行う。

- ・先頭で整列を促し、お念珠を配る。
- ・落ち着いて参加出来るよう、寄り添い傍で見守る。

- ・大きな動作で手本となるように楽しんで行う。
- ・教室に戻るよう声を掛ける。

- ・1人ひとりの名前を丁寧に呼び、返事を笑顔で受け止める。



<導入 手遊び「ピクニック」>

- ・お弁当作りの意識を高める。

- ・グループ毎に、お弁当を見せ、他のグループのお弁当に興味を持ったり完成に意欲が持てるようにする。
- ・見通しを持って制作できるように終わりの時間を示す。終わらなくても、今後続きをすることを伝え、安心して取り組めるようにする。
- ・ハサミやクレヨンを使用して良い事を伝え、自由に表現を楽しめるようにする。

- ◎グループに入り、あまり声を発していない子どもに声を掛け、何を作っているか、難しいことは無いか等聞き代弁する。保育者も一緒に制作を行うことで、参加しやすい雰囲気作りを行う。

- ・片付けの5分前に声掛け、見通しを持てるようにする。
- ・粘土を使った子どもにはタオルで拭くよう促す。

- ・始める前との違いを示し、認め、次への制作に期待を持てるよう気持ちに共感する。
- ・材料を一つずつ読み上げ、その食材が何グループかを聞きながら表に食材を貼る。

- ・排泄、手洗いうがいを促し、机を移動する。

公開保育指導案

平成 27 年 12 月 15 日 (火)

2 歳児 ラスカル組

テーマ リトミック遊び

要領ねらい 表現 (3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。

要領内容

健康 (2) いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。
人間関係 (7) 友達によさに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。
表現 (8) 自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう。

先週までの活動概要と園児の姿

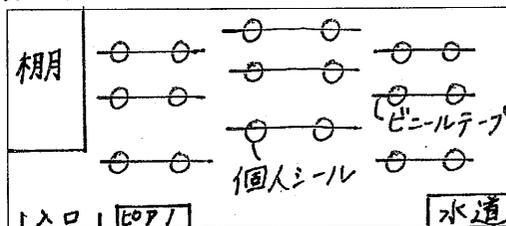
・曲に合わせて身体を動かす…かけあし・歩き・ゆっくり歩き・跳ぶ・転がる
・2人組でふれあい遊びをする…手合わせ・ぎったんぱっこん
・手遊び歌に親しむ…小さな畑・やおやのお店・カレーライス之歌
毎月の歌や手遊びに興味を持ち、喜んで歌う姿が増えてきている。
リトミックの動きに少しずつ慣れてきて、音楽が聞こえると自然と体が動くようになってきた。
中には活動に興味は持っているが、恥ずかしさからか動きが止まってしまう子もいる。

予想される姿・幼児の姿

環境・指導のポイント

- 仏参(10:00~)
 - ・ホールへ行き、仏参に参加する。
 - ・個人シールが貼ってある所に立ち、合掌をする。
- 長岡市歌「笑顔いきいき」を歌う。
- 保育室に戻る 排泄(10:15~)
 - ・トイレへ行き、排泄をする。
 - ・戻った子どもから順に朝の会の支度をし、個人シールの所へ座る。
- 朝の会(10:25~)
 - ・普段と異なる雰囲気に対し、不安な表情を見せる。
 - ・「コンコンクジャンのうた」「げんこつやまのたぬきさん」を歌う。
 - ・それぞれの動物をイメージし、動きを真似しながら歌う。
 - ・ジャンケンのルールが分かり、保育者と対決することを楽しむ。
 - ・日付を確認し、おはようブックにシールを貼る。
 - ・日付や天気に関心を持ち、保育者に伝えようとする。

- ・落ち着いて参加出来るようそばに付き見守る。
- ・子どもたちと一緒に歌う。
- ・トイレ・保育室の担当に分かれる。
- ・ズボンやパンツが上手く着脱出来ない子に対し声を掛け必要に応じて援助を行う。
- ・不安な気持ちを受け止め、寄り添う。
- ・子どもたちの前に立ち、一緒に楽しみながら歌う。
- ・子どもの動きを見ながら、ピアノ伴奏をする。
- ・日付確認の際には、子どもたちに問いかけながら進め、自分で考えることが出来るようにする。



- リトミック遊び〔主活動〕(10:35~)
 - <音楽に合わせて身体を動かす>
 - ・「10人のインディアン」に合わせて、かけあし・歩き・跳ぶ・止まる・後ろ歩き等の動きを楽しむ。
 - ・個人シールが貼ってある所へ行き、友だちと二人組になる。
 - ・ピアノに合わせて、手合わせやぎったんぱっこんなどのふれあい遊びをする。
 - <読み聞かせ>
 - ・「パパ・カレー」の絵本を見て、カレーライスの具材に興味を持つ。
 - <カレーライスを作ろう!>
 - ・「小さな畑」の手遊びをする。
 - ・にんじん、たまねぎ、じゃがいもになりきって、音楽に合わせて身体を動かす。
 - ・「カレーライスのうた」に合わせて身体を動かす。
 - ・完成したカレーライスを食べる真似をする。
 - ・活動を振り返り、喜んで話す。
- 給食準備にうつる。(11:00~)

- ・子どもの動きを見ながら、ピアノ伴奏をする。
- ・危険のないよう見守りながら、子どもたちと活動を楽しむ。
- ・個人シールが貼ってある所へ行き、友だちと二人組になるよう、声を掛ける。
- ・全員が見える位置に立ち、読み聞かせをする。
- ・物語を楽しめるよう寄り添い、一緒に見る。
- ・子どもたちと一緒に手遊びをする。
- ・楽しく動くことが出来るよう、手本となり一緒に動く。
- ・具材を想像することが出来るようペープサートを出す。
- ・保育者も楽しみ、一緒に食べる真似をする。
- ・子どもたちと活動を振り返る。
- 給食準備にうつる。

公開保育指導案

平成 27 年 12 月 16 日 (水)

年少児 ムーミン組

テーマ 楽器遊び

要領ねらい 表現(3)生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。

要領内容 表現(6)音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりするなどする楽しさを味わう。
言葉(1)保育教諭等や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみを持って聞いたり、話したりする。

先週までの活動概要と園児の姿
・動物(ネコ・カエル・ゾウ)の鳴き声に合わせて、手を叩きリズムを取る。リズム通りに手を叩かず悔しがる子もいたが、曲に合わせてたりする等楽しみながら取り組んでいた。
・本物の楽器(「太鼓」「シンバル」「鈴」「タンバリン」「トライアングル」「カスタネット」2月のお遊戯会で使う予定のもの)の音を聴き、楽器の音と似ているものを探したり、音を言葉にする等様々な楽しみ方をしていた。実際に楽器を子どもたちが1人ずつ順番に触り鳴らしてみると、上手く鳴らせたことを喜び、笑顔で繰り返し鳴らしていた。
・みんなで楽器を演奏したいとの声があり、楽器制作(太鼓や鈴になるもの、通称「がっちゃん」)を行う。制作時は中に何を入れたら良いか保育者に提案しながら、良い音が鳴るよう考えていた。

予想される姿・幼児の姿

環境・指導のポイント

- 仏参(10:00~)
 - ・ホールに行き、手を合わせ仏参に参加する。
 - ・長岡市歌「笑顔いきいき」を手話と共に歌う。
 - ・教室に戻る。
- 朝の会(10:15~)
 - ・保育者と日付を確認し、朝の挨拶をする。
 - ・おはようブックにシールを貼る。
 - ・保育者に呼ばれた誕生日の子は前に出てくる。
 - ・座っている子はハッピーバースデーの歌を歌う。
 - ・季節の歌「おしょうがつ」「コンコンクシャンのうた」を元気な声で歌う。

- 排泄(10:30~)
 - ・保育者から呼ばれたグループの子は歩いてトイレへ行き、手洗いをし部屋へ戻る。

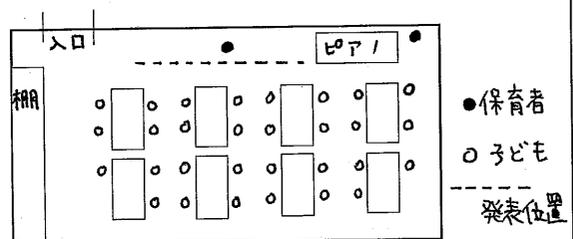
- 楽器クイズ[主活動①](10:40~)
 - ・保育者が鳴らす楽器の音を聞き、何の楽器か分かった子は返事をし手を挙げる。
 - ・緊張して答えられない子がいる。

- プチ演奏会[主活動②]「あわてんぼうのサンタクロース」
 - ・手作り楽器を持ち2グループ毎に発表をする。
 - ・保育者から楽器を受け取り、座席に座って待つ。
 - ・ピアノに合わせて、手作り楽器を楽しんで演奏する。
 - ・保育者からインタビューされた子は名前と感想を答える。

- まとめ
 - ・保育者の言葉掛けに反応し、次回の活動に期待を持つ。

- 給食準備(11:15~)

- - ・子どもの姿勢や手の合わせ方を指導しながら、見守る。
 - ・子どもと一緒に長岡市歌を歌う。
 - ・歩いて教室に戻るよう促す。
- - ・子どもに正しい椅子の座り方を問いかけ、落ち着いて朝の会を行えるようにする。
 - ・子どもたちの前に立ち、一緒に楽しみながら歌う。
 - ・子どもたちの様子を見守りながらピアノを弾く。



- - ・トイレの混雑を避けるため、グループ毎に排泄を促す。
 - ・待機している子どもが退屈しないよう手遊びを行う。
 - ・天気が良ければ5分程度換気を行う。
 - ・楽器を隠す場所を準備する。
- - ・子どもたちに見えないよう楽器を隠して鳴らす。
 - ・マイクを持って子どもに名前、答えを聞きに行く。
 - ・優しく声を掛け、手を挙げた勇気を認める。
 - ・最後に手作り楽器を鳴らし、次の活動に繋げる。
- - ・2グループ毎に発表会をすることを伝える。
 - ・混雑しないように順に呼び、取りに来るよう伝える。
 - ・子どもたちがリズムに乗れるようピアノを弾く。
 - ・演奏した子、聞いていた子各1人ずつ名前と感想を聞く。
- - ・感想を聞き、次は本物の楽器を持って演奏することを伝え、意欲・期待を高める。

公開保育指導案

平成27年12月17日(木)

年長児 ガリバー組

テーマ 手作りかるたであそぼう！

要領ねらい 人-3 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。

要領内容 人-11 友達と楽しく生活する中できまりの大切さに気付き、守ろうとする。

言-7 生活の中で言葉の楽しさや美しさに気付く。

表-7 かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりする。

先週までの活動概要と園児の姿

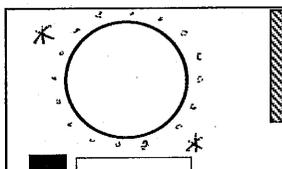
・書き順を正しく覚えるため、毎日朝の会で1～2文字ずつ空文字で書き順の練習をした。その日学んだひらがなを使ってグループ対抗でひらがなゲームを行った。(グループごとに一枚の紙に「 」が頭につく単語を8分間で書き出し、その数を競う。例:「あ」あひる、あり、あめ、あしetc)
 ・ひらがなゲームで培った単語力を生かし、読み札の内容を子どもの力で考え制作する。それに沿った絵札も描きかると作った。
 ・先週初めて完成したかるたで遊び大いに楽しんでた。しかし、お手つきする子や待っているときのきまりを守らない子が多かったため、ルールがあまり浸透していない様子が見受けられた。

予想される姿・幼児の姿

環境・指導のポイント

○仏参をする
 ○朝の会
 ・鞆を持ちグループごとに1列で並ぶ。
 ・「たきび」「あわてんぼうのサンタクロース」を歌う。
 ・出欠確認で返事をする。当番の発表を聞き、シール当番は保育者からシールを受け取り待っている子に渡す。シールをおはようブックに貼った子から鞆をロッカーにしまい、元の場所に座る。
 ○保育者の話を聞く
 ・かるた遊びをすることを知り、喜ぶ。
 ・ルール説明を聞き、理解する。分からないことは質問する。
 ○かるた大会をする
 <ルール>
 ①読み札と同じ文字の絵札を取る。
 ②お手つきをしたら、同じグループの子どもも「1回休み」をする。
 ③取った絵札は最後にグループごとに集め、得点を数える。
 ※待っている間は、円のテープの外側で正座で待つ。
 ※絵札は見つけてから立ち上がって取りに行く。
 ※取った絵札は自分の真後ろに置いておく。
 ・広がって円になり座る。
 ・指名されたグループの子どもが絵札を並べる
 ・保育者が読み上げる声をよく聞き、絵札を探して取る。
 ・複数人が同じ札を取ろうとする。
 ・お手つきをする子がいる。その子と同じグループの子は手を頭の上に乗せ、「1回休み」をする。
 ・絵札を全て取り終わったら、グループごとにまとまって座り、グループ内で取った絵札を集める。
 ・保育者に指名されたグループから枚数を数える。他のグループもそれに注目し、一緒に数を数える。
 ・得点を見て多かったグループは喜び、思うように得点を重ねられなかったグループは悔しがらる。
 ・優勝したグループは保育者からメダルをもらう。
 ○保育者の話を聞く。
 ・今までの経験を元に多くの札を取れる方法を考え、保育者や友達に伝えようとする。
 ・絵馬制作やあいうえお作文に興味を示し、やってみたいと意欲を見せる。

・正しい姿勢でお参りが出来ているか見て回る。
 ・鞆を持ってグループごとに座るよう促す。
 ・リズムに乗って楽しんで歌えるよう、曲調に合わせてピアノを弾く。
 ・出欠確認をする。子どもたちが自分の当番を聞き逃さないよう、大きな声でゆっくりと発表する。
 ・行動の流れが分かるよう、シールを貼る前に貼り終えてからの行動を伝えておく。
 ・活動に期待がもてるよう、かるたの起源を話したり今までの活動を振り返る。
 ・以前かるた大会を行った時のルールを子どもたちと振り返り、もう一度ルールの確認をする。



○…あらかじめ円の形にテープを貼っておく
 *…保育者
 …子ども

・同じグループの子どもが一定の場所に集まらないよう呼びかける。
 ・全員準備が整っていることを確認し、聞き取りやすい声で読み札を読む。絵札が減るにつれて取り手と札の距離感などの問題が生じてくるため、配置や向きをシャッフルする。
 ・誰が最初に手をついたのかを読み手でない保育者がよく見て判定を行う。手をつくタイミングが同時だった場合、ジャンケンで誰が絵札を取るか決めるよう促す。
 ・お手つきした子とグループに「1回休み」をすることを伝え、手を頭の上に乗せるよう促す。「1回休み」が終わったら、再びゲームに参加するよう呼びかける。
 ・場の絵札がなくなったらグループごとに集まるよう呼びかける。順番にグループを指名し、取った札を大きな声で数えるよう促す。
 ・予めホワイトボードに描いておいた表に得点を書き出し、視覚で結果を理解できるようにする。
 ・優勝したグループにメダルを渡し、頑張りを認め褒める。
 ・今日のかかるた大会のグループごとでの成果を認め、より多くの絵札を取るにはどうしたらよいか問い掛ける。そして、その方法を次回のかかるた大会で用いてみることを提案する。
 ・これまで学んだひらがなを使い、お部屋飾りの絵馬制作や自分の名前を使いあいうえお作文を作ることを伝える。また、小学校に向けての学習準備だということも意識づけ、今後も文字を使う活動に期待をもてるようにする。